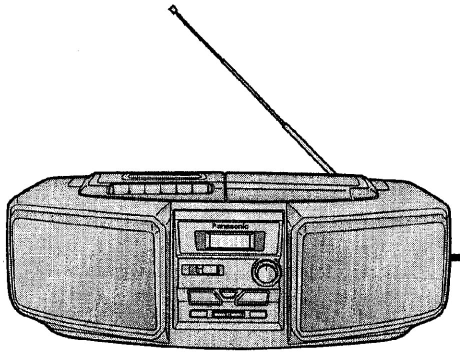
Panasonic®



ポータブルステレオ CD システム

取扱説明書

品番 RX-DS5

もくじ

準備

安全上のご注意 ……2
電源の準備 ……6
各部のなまえ ……7
放送局を記憶させる ……8

演奏

ラジオを聞く ……9
CD を聞く ……10
テープを聞く ……13
音質を切り換える ……14

録音

録音の前に ……15
ラジオ放送を録音する ……15
CD を録音する ……16

その他の機能

マイクを使う ……17
ヘッドホンで聞く ……17

ご参考

CD について ……18
テープについて ……18
お手入れ ……19
著作権について ……20
故障かな!? ……21
保証とアフターサービス ……22
主な仕様 ……裏表紙

付属品
□電源コード (RJA0059-J) ‥1 本
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

このたびは、ポータブルステレオ CD システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使って上手に節電

RQT4650-S

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

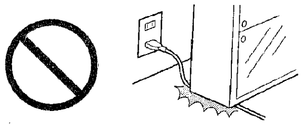
⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

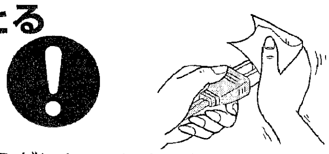
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）



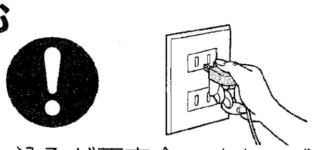
- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



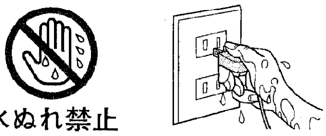
- プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

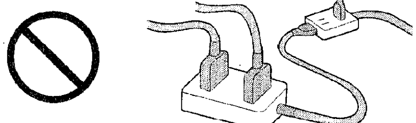
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



水ぬれ禁止

- 感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

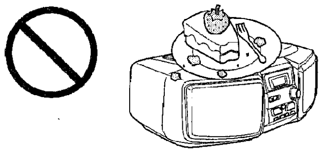


- たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠警告

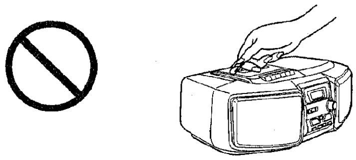
ご使用について

機器の上にものを載せない



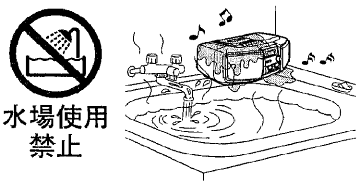
- 機器内に入った場合、火災や感電の原因になります。

機器内部に金属物を入れない



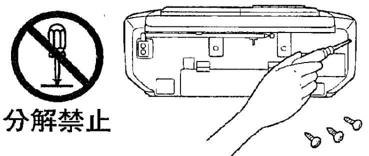
- 感電の原因になります。
- 特にお子様にはご注意ください。

水をかけたり濡らしたりしない



- 機器が故障したり、ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 水が入ったときは、電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。
- 雨天、降雪中、海岸や水辺での使用は、特にご注意ください。

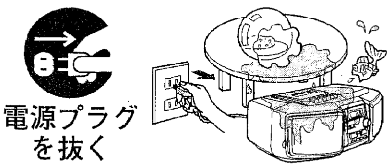
分解、改造しない



- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

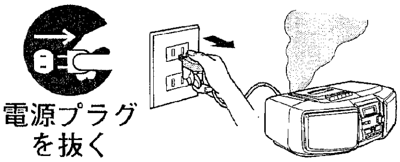
もし異常が起こったら

機器内部に金属や水、異物が入ったら、電源プラグを抜く



- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

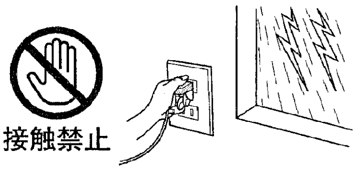
煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したときは電源プラグを抜く



- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

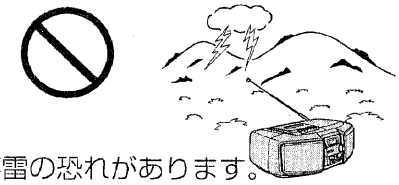
雷について

雷が鳴ったら、アンテナや機器、電源プラグに触れない



- 感電の恐れがあります。

雷が鳴ったら、屋外で使わない



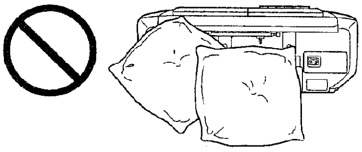
- 落雷の恐れがあります。
- 使用しているときは、すぐに機器から離れてください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠注意

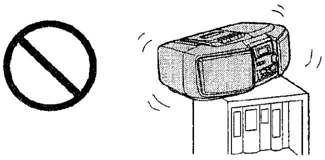
設置について

放熱を妨げない



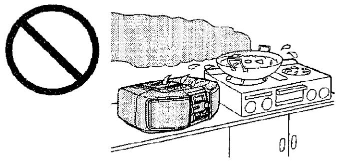
- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。本機後面の放熱孔をふさがないよう、ご注意ください。

不安定な場所に置かない



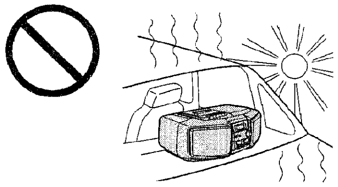
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

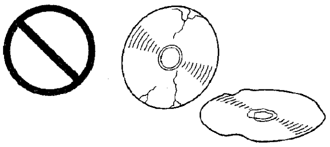
異常に温度が高くなるところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ご使用について

ひび割れ、変形したディスクやハート型などの特殊形状のディスクは使わない

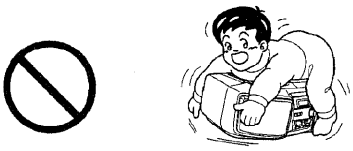


- 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりしてけがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器に乗らない

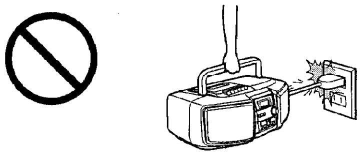


- 倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠注意

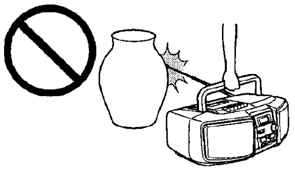
持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

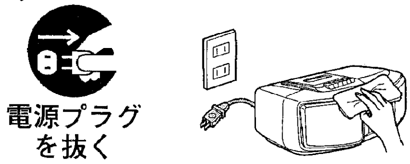
アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない



- アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になることがあります。

お手入れについて

お手入れの前には、電源プラグを抜く



- 入れたままにしておくと、感電の原因になることがあります。

電池について

以下のことを守り正しく取り扱う

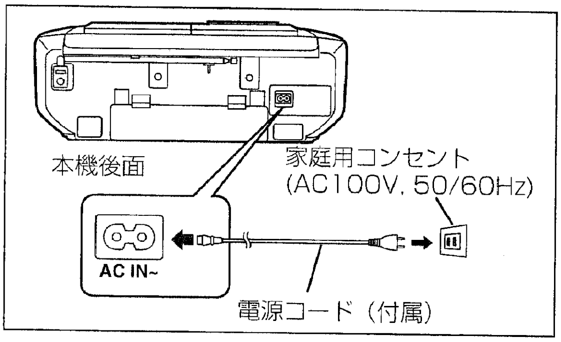
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **乾電池の代用として、充電式電池を使わない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電源の準備

家庭用コンセントまたは別売りの単１形乾電池で使えます。

家庭用コンセントで使う



電源コードはしっかりと奥まで差し込んでください。(電源コードと本体及び家庭用コンセント)

●電源コードを抜くときは

テープを止め、**切換**つまみを「テープ／電源**切**」に合わせて電源を切ってから抜いてください。電源が入ったまま電源コードを抜くと、メモリー用乾電池が早く消耗します。

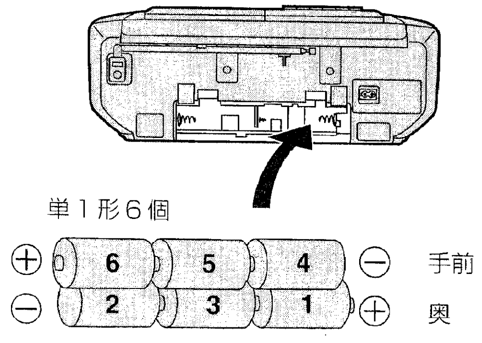
●長期間使用しないときは

節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、メモリー用乾電池を入れていないと再使用時には、放送局の設定など各種メモリーの再設定が必要です。（**切換**つまみを「テープ／電源**切**」に合わせて電源を切った状態でも、0.9Wの電力を消費しています。）

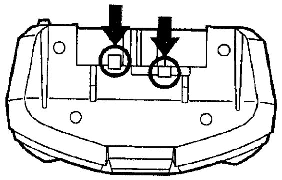
乾電池（別売り）で使う

電源コードを本体から抜くと、乾電池電源に切り換わります。

①電池ふたを開ける
②下図の番号順に乾電池を入れる



乾電池を取り出すときは、本機底面の穴に指を入れて押し出す。



乾電池の交換時期

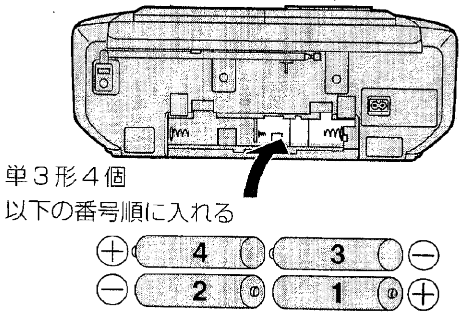
音がひずんだり、正常に動作しないときは、乾電池を６個とも交換してください。
録音などの前には乾電池を６個とも交換することをおすすめします。

メモリー用乾電池（別売り）

CDの予約内容や記憶させた放送局が消えるのを防ぐため、お使いになることをおすすめします。

メモリー用乾電池を使用していないと、以下のときメモリーが消えます。

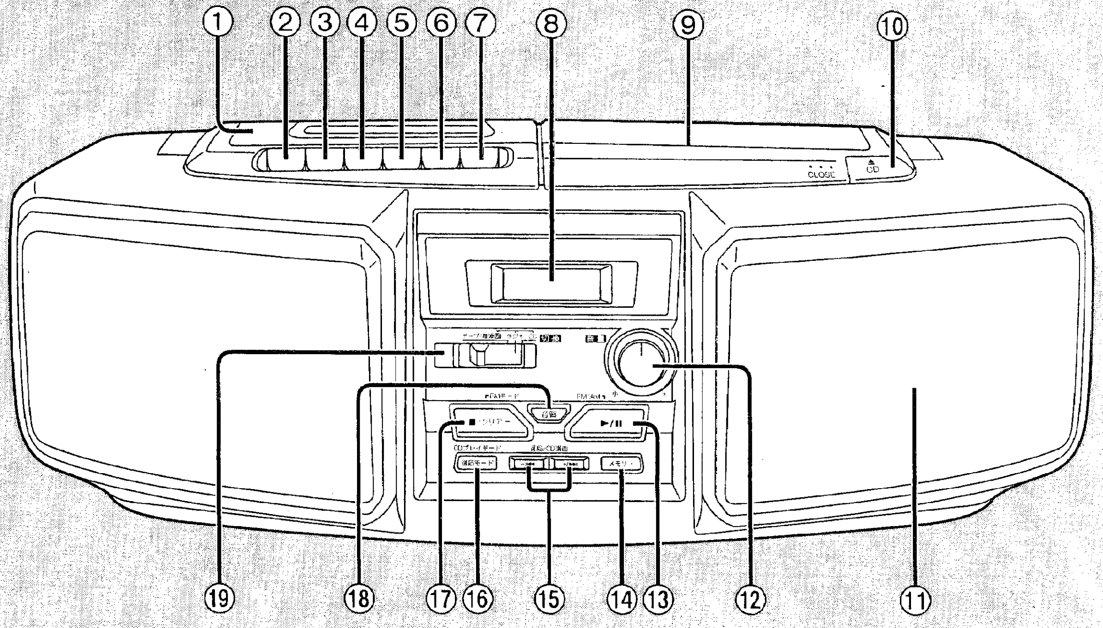
- 停電したとき
- 電源プラグをコンセントから抜いたとき
- 乾電池（単１形６個）で使用中に、電源コードをコンセントに接続せずに本体に差し込んだとき



乾電池の交換について

- 寿命は約１年です。
- メモリー保護のため、電源コードをコンセントと本体に接続してから乾電池を交換してください。

各部のなまえ



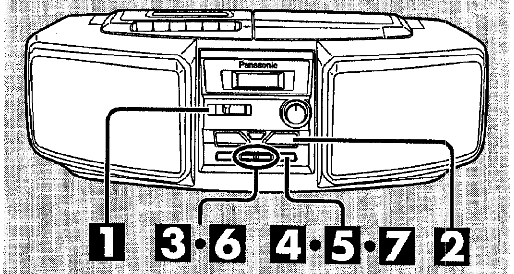
番号	なまえ	参照ページ
①	カセットふた	
②	● **録音** ボタン	15, 16, 17
③	▶ **再生**ボタン	13
④	◀◀ **巻戻し／くり返し**ボタン	13
⑤	▶▶ **早送り／頭出し**ボタン	13
⑥	■/▲ **停止／取出し**ボタン	13
⑦	❚❚ **一時停止**ボタン	13
⑧	表示パネル	
⑨	**CD ふた**	
⑩	**▲ CD**（CD ふた開け）ボタン	10, 16
⑪	スピーカー	
⑫	**音量** 調整つまみ	9, 10, 13

番号	なまえ	参照ページ
⑬	**FM/AM、▶/❚❚**（CD 演奏／一時停止）ボタン	8〜12
⑭	**メモリー**（CD 予約、ラジオ放送局予約）ボタン	8, 12
⑮	**選局／CD 選曲、−/⏮、+/⏭** ボタン	8〜12
⑯	**CD プレイモード、選局モード**（CD 演奏切り換え、ラジオ選局モード選択）ボタン	9, 11
⑰	**FM モード、■／クリアー**（FM ステレオ／モノラル切換、CD 停止／クリアー）ボタン	9, 10, 12, 16
⑱	**音質**切り換えボタン	14
⑲	**テープ／電源 切、ラジオ、CD 切換** つまみ	8〜13、15〜17

放送局を記憶させる

放送局を記憶させておくと、次から簡単に選局できます。

- FM（TV1 ～ 3ch を含む）、AM、各 10 局まで記憶させることができます。
- FM の放送局を記憶させるときは、アンテナを伸ばしておいてください。



1 切換 つまみを「ラジオ」に合わせる

電源が入ります。

2 [FM/AM、▶/❚❚] を押して、"FM" または "AM" を選ぶ

押すたびに：　FM ←→ AM

TV 音声（1 ～ 3ch）を記憶させるときは、FM を選びます。

3 [−/⏮]、[+/⏭] を押して、放送局を選ぶ

このとき "PRESET" が消灯していることを確認してください。（9 ページの手順 3）

TV 音声 1 ～ 3ch の受信位置		
95.7MHz	TV1ch	95.8MHz
101.7MHz	TV2ch	101.8MHz
107.7MHz	TV3ch	107.8MHz

お知らせ

オートチューニング（➡9 ページ）を使って放送局を自動で選ぶこともできます。

4 [メモリー] を押す

"PGM" と周波数が点滅します。（約 10 秒間）

5 "PGM" と周波数が点滅中に [メモリー] を押す

"PGM" とプリセットチャンネルが点滅します。（約 10 秒間）

6 "PGM" とプリセットチャンネルの点滅中に、[−/⏮]、[+/⏭] を押して、プリセットチャンネル（1 ～ 10）を選ぶ

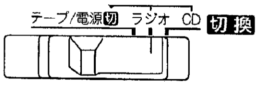
7 [メモリー] を押す

放送局の記憶が完了し、元の表示に戻ります。

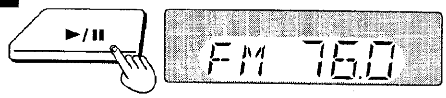
メモリーの途中で、"PGM" が消えたときは、手順 4 からやり直してください。

8 3 ～ 7 をくり返す

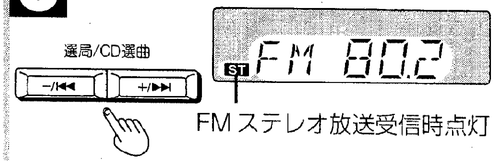
1



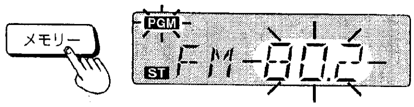
2



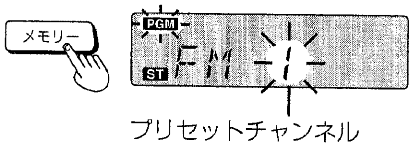
3



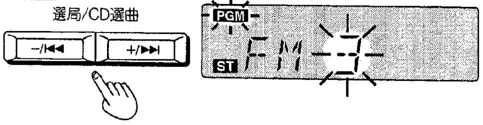
4



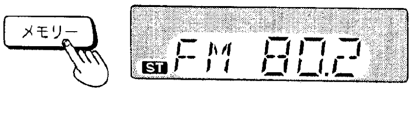
5



6



7



本機の TV 受信回路について

FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに、FM が混信することがあります。

ラジオを聞く

FM はステレオで、AM と TV（1～3ch）はモノラル音声です。

1 **切換つまみを「ラジオ」に合わせる**
電源が入ります。

2 **[FM/AM、▶/❙❙] を押して "FM" または "AM" を選ぶ**
押すたびに： FM ⟷ AM
TV 音声（1～3ch）を聞くときは、FM を選びます。

3 **[選局モード、CD プレイモード] を押して、選局方法を選ぶ**
押すたびに：
PRESET（プリセット）（放送局を記憶させて使うとき）
↕
消灯（放送局を記憶させないで使うとき）

4 **[−/⏮] または [+/⏭] を押して、放送局を選ぶ**
放送局を記憶させて使うときは、プリセットチャンネルを選びます。

5 **音量を調整する**

自動選局するには（オートチューニング）

放送局を記憶させていないときの、簡単な選局方法です。
[−/⏮] または [+/⏭] を押し続け、周波数が動き始めたら指を離す。
最初に受信した放送局の周波数で自動停止します。

お知らせ

周辺の妨害電波によって、放送局を受信しないのに停止することがあります。この場合は、[−/⏮] または [+/⏭] をポンポンと押して選局してください。

自動選局を止めるには
もう一度 [−/⏮] または [+/⏭] を押す。

受信をよくするには A

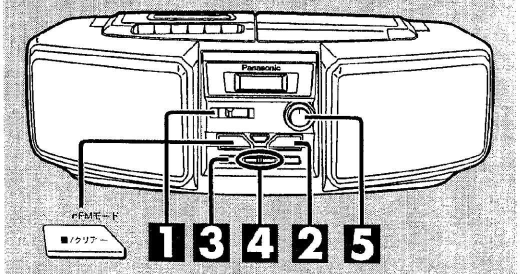
FM：ホイップアンテナの長さと向きを調整する
AM：本体の向きを調整する

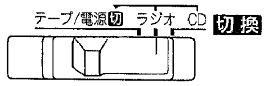
FM ステレオ放送で雑音が多いときは B

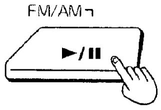
[FM モード、■／クリアー] を押して、"MONO" を点灯させる
モノラル音声になりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
通常は "MONO" を消しておいてください。

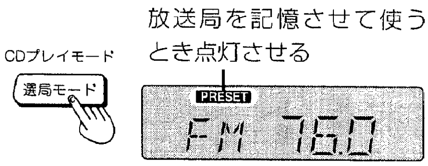
お知らせ

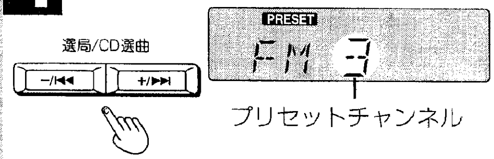
乗り物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

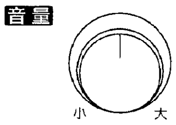


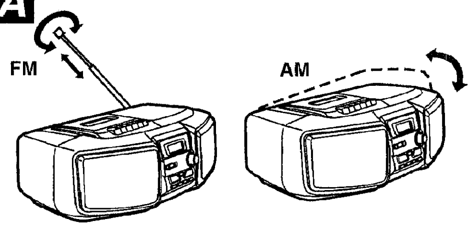
1


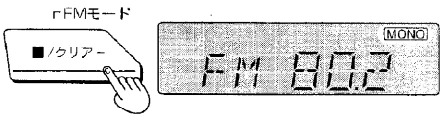
2


3


4


5


A


B


CDを聞く

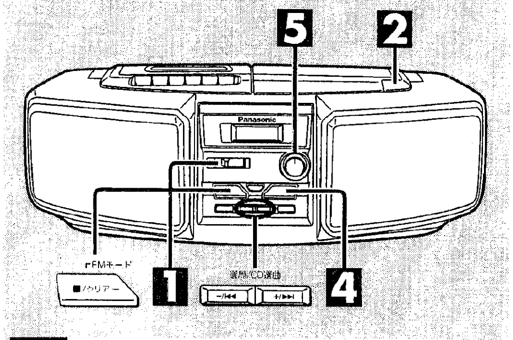
1 **切換つまみを「CD」に合わせる**
電源が入ります。

2 **[▲CD] を押してCDふたを開け、CDを入れる**

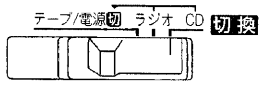
3 **CDふたを手で押して閉める**
(CDふたを閉めるときは、•••CLOSEを押してください。)
CDの総曲数と総演奏時間が表示されます。

4 **[FM/AM、▶/❚❚] を押す**
演奏が始まります。
最終曲まで演奏して自動的に停止します。

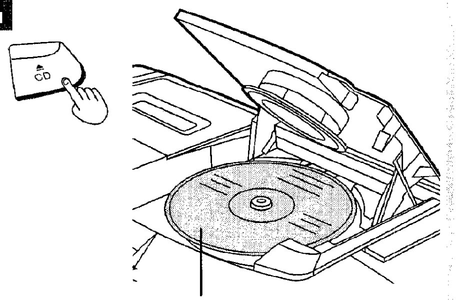
5 **音量を調整する**



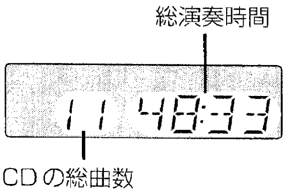
1



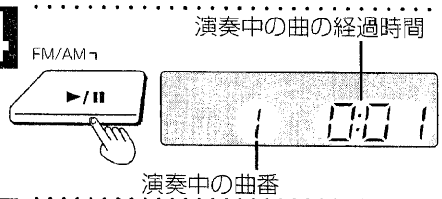
2



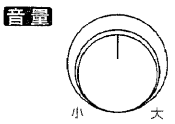
3



4



5

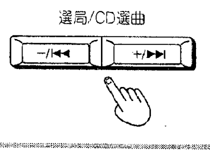


演奏を止めるには

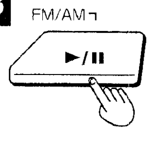
[FMモード、■/クリアー] を押す。

曲を飛び越すには（スキップ） A	
[−/I◀◀] · [+/▶▶I]	飛び越す回数だけポンポンと押す。
早送り、早戻しをする（サーチ） A	
[−/I◀◀] · [+/▶▶I]	演奏中または一時停止中に長押しする。
一時停止する B	
[FM/AM、▶/❚❚]	演奏中に押す。 再び演奏するには、もう一度押す。

A



B



お願い

- 演奏中、一時停止中、またはCDを入れてCDふたを閉めた直後に [▲CD] を押さないでください。CDに傷が付くおそれがあります。
- 他の機器（ラジオ・TVなど）に雑音が入ったら、できるだけ本機を他の機器から離してご使用ください。
- ハート型など、特殊形状のCDは使えません。 C

C

お知らせ

- 本機にCDが入っていないときは、"NO DISC" と表示されます。
- 本機は、リピート演奏（➡11ページ）、ランダム演奏（➡11ページ）、プログラム演奏（➡12ページ）などの演奏モードがありますが、以下のようなときは、それらの演奏モードは解除されます。
  1. メモリー用乾電池を入れないで、電源コードを抜いたとき（➡6ページ）
  2. [▲CD] を押してCDふたを開いたとき

演奏をくり返す（リピート）

演奏前または演奏中に

[CD プレイモード、選局モード] を押して "1-⟲" または "⟲" を点灯させる

押すたびに：1-⟲ → ⟲ → RANDOM
↑―――― 消灯 ←――――

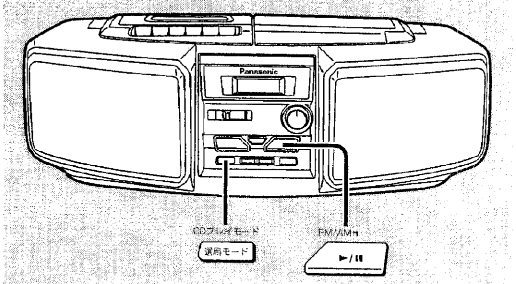
"1-⟲"：1 曲をくり返すとき A
"⟲"　：全曲をくり返すとき B

好みの曲を選んでくり返す

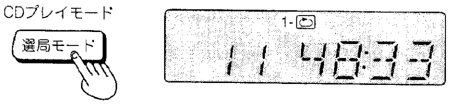
1. 12ページの手順 **1** ～ **4** で好みの曲を予約する
2. **[CD プレイモード、選局モード]** を押して、"⟲" を点灯させる
3. **[FM/AM、▶/❚❚]** を押して演奏を始める

解除するには

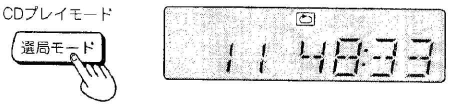
"1-⟲"、"⟲" または "RANDOM" 表示が消えるまで **[CD プレイモード、選局モード]** をポンポンと押す。



A



B



順不同に聞く（ランダム演奏）

1 **[CD プレイモード、選局モード] を押して "RANDOM" を点灯させる**

押すたびに：1-⟲ → ⟲ → RANDOM
↑―――― 消灯 ←――――

2 **[FM/AM、▶/❚❚] を押す**

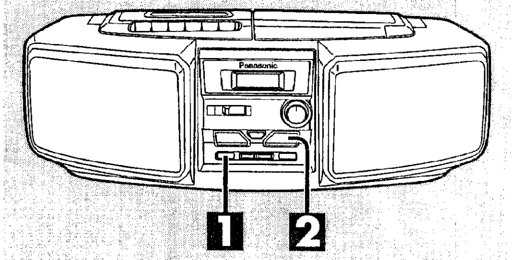
順不同に全曲を演奏して自動的に停止します。

解除するには

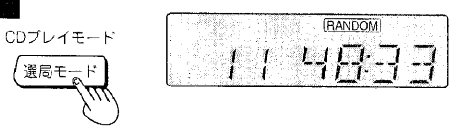
[CD プレイモード、選局モード] を押して、"RANDOM" を消す。

お知らせ

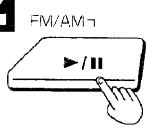
- 好みの曲だけを選んでランダム演奏することはできません。
- ランダム演奏中は、[−/◀◀] を押してスキップできません。
- ランダム演奏中の早送り、早戻しは演奏中の曲の中でだけできます。



1



2



好みの曲を予約順に聞く（プログラム演奏）

最大24曲まで予約できます。

準備：“RANDOM”が点灯していたら、**[CDプレイモード、選局モード]**を押して表示を消してください。

1 **切換つまみを「CD」に合わせる**

総曲数と総演奏時間が表示されます。

2 **[－/⏮]、[＋/⏭]を押して、予約したい曲番を表示させる**

3 **[メモリー]を押して予約する**

予約した曲番と予約順（約1秒）が表示されます。

4 **2、3をくり返して、続けて予約する**

5 **[FM/AM、▶/II]を押す**

予約順に演奏し、自動的に停止します。

プログラムの内容を取り消すには

停止中に**[FMモード、■／クリアー]**を押す

“CLr”を表示し、予約曲がすべて取り消され、プログラム演奏も解除されます。

“－－：－－”と表示されたら A

予約曲の合計演奏時間が100分を超えています。ただし、予約や演奏はできます。

“FULL”と表示されたら B

すでに24曲予約されています。これ以上予約できません。

予約内容の記憶について C

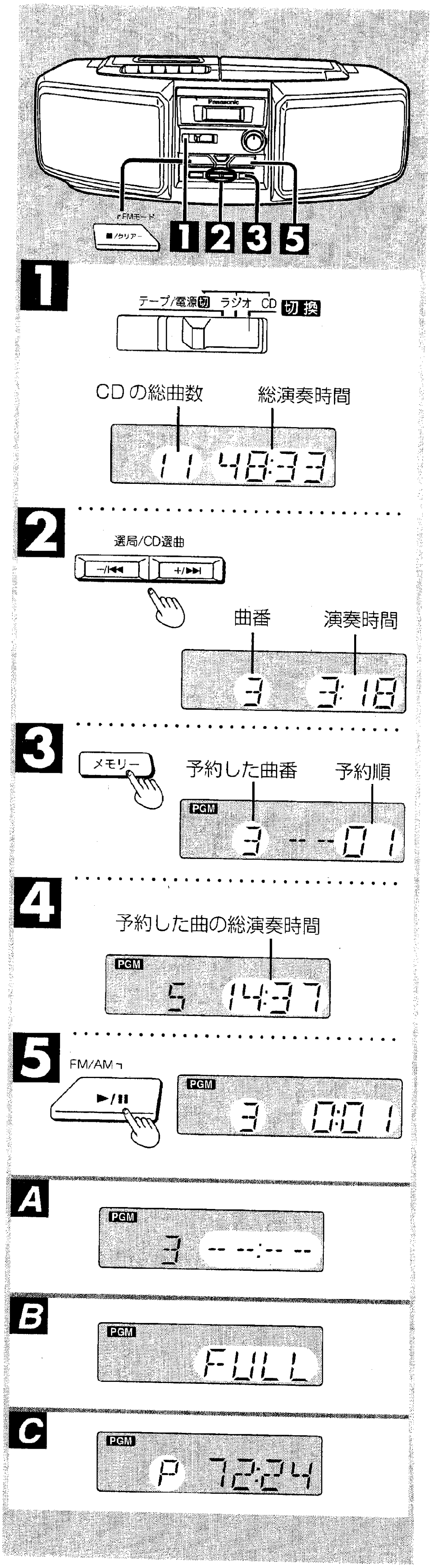
プログラム演奏中に**[FMモード、■／クリアー]**を押すか、または演奏が終了すると、右図のような表示が点灯し、予約内容が記憶されていることを表します。

この状態で、以下のことができます。

- **[FM/AM、▶/II]**を押して、予約した順に演奏する
- **[－/⏮]、[＋/⏭]**を押して、予約内容を確認する（押すたびに、曲番と演奏順が表示されます。）

お知らせ

- 演奏を止めたり、電源を切ったときでも、予約内容は記憶されています。
- 演奏中はプログラムできません。



テープを聞く

再生できるテープ

Nomal position/ TYPE I	○
High position/ TYPE II	×
Metal position/ TYPE IV	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープの特性を活かすことができません。

1 切換 つまみを「テープ/電源 切」に合わせる

2 [■/▲ 停止/取出し] を押してカセットふたを開け、テープを入れる

カセットふたを手で閉めます。

3 [▶ 再生] を押す

電源が入り、再生が始まります。

4 音量を調整する

再生を止めるには

[■/▲ 停止/取出し] を押す。電源も切れます。

フルオートストップ機能について

再生・録音中または早送り・巻き戻し中、テープ終端に来ると自動的に停止します。

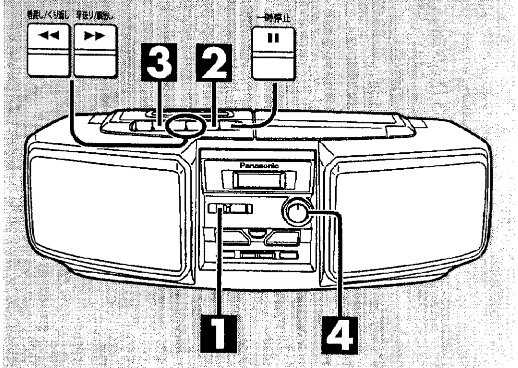
早送り・巻戻しをする A	
[▶▶ 早送り/頭出し] [◀◀ 巻戻し/くり返し]	停止中に押す。
聞きたいところを探す A	
[▶▶ 早送り/頭出し] [◀◀ 巻戻し/くり返し]	再生中に押す。指を離すと再生に戻ります。
一時停止する B	
[❚❚ 一時停止]	再生中に押す。再び再生するにはもう一度押す。

お知らせ

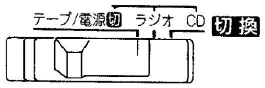
- 一時停止しても電源は切れません。
  長時間放置するときは、「■/▲ 停止/取出し」を押して電源を切ってください。

お願い

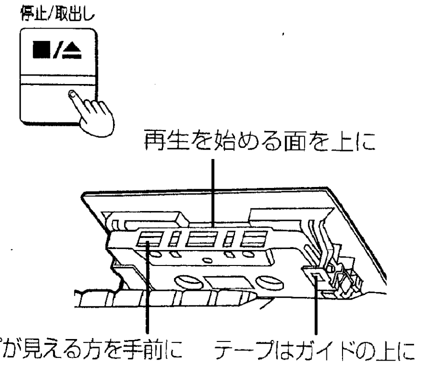
早送り・巻き戻し中に [▶ 再生] を押さないでください。
テープが回転部に巻き込まれる恐れがあります。
必ず [■/▲ 停止/取出し] を押して早送り・巻戻しを止めてから [▶ 再生] を押してください。



1

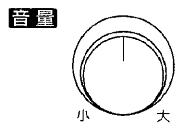


2

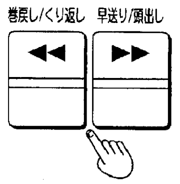


3

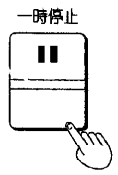
4



A



B



演奏

音質を切り換える A

［音質］を押す

押すたびに：

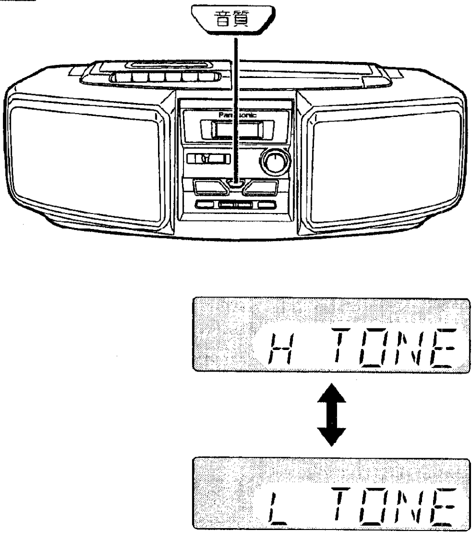
“H TONE”（ハイトーン）（高音を強調した音になる）

↕

“L TONE”（ロートーン）（高音を抑えた音になる）

- **高音部が強すぎて聞きづらいと感じたときは**
  音質を切り換えて（上記）聞きやすいように調整してください。

A



録音の前に

録音できるテープ

Nomal position/ TYPE I	○
High position/ TYPE II	×
Metal position/ TYPE IV	×

本機では、ハイポジション、メタルポジションのテープを使うと、正しく録音・消去されません。

テープのはじめから録音するとき A

録音できないリーダーテープ部を送り出して、録音がすぐ開始できるようにしておきます。

お知らせ

- **録音レベルは自動的に設定されます。**
- **録音中に音量や音質を変えても録音されるテープには影響しません。**
- 乾電池の消耗による録音時のトラブルを防ぐため、家庭用コンセントか、新しい乾電池のご使用をおすすめします。
- 録音中に、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響で雑音が録音されることがあります。

テープの音を消すには B

① **切換** つまみを「**テープ／電源 切**」に合わせる
② 消したい面を上に、テープが見える方を手前にしてテープを入れる
③ [**● 録音**] を押す
　[**▶ 再生**] も同時に押し込まれます。

ラジオ放送を録音する

1 **[■/▲ 停止／取出し] を押してカセットふたを開け、テープを入れる**
カセットふたを手で閉めます。

2 **放送局を選ぶ (9ページの手順 1～4)**

3 **[● 録音] を押す**
[**▶ 再生**] も同時に押し込まれ、録音が始まります。
片面だけ録音して停止します。

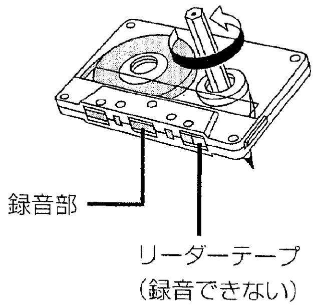
録音を止めるには

[**■/▲ 停止／取出し**] を押す。

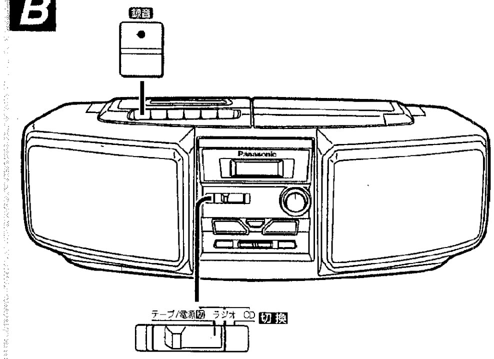
録音を一時停止するには

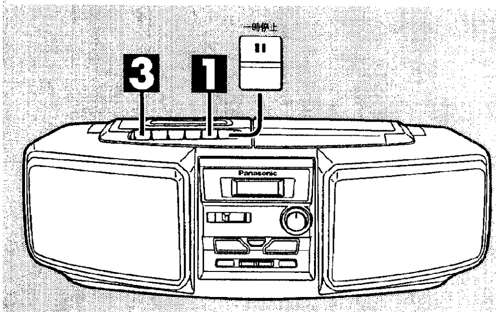
[**❚❚ 一時停止**] を押す。
録音を再開するには、もう一度押す。

A

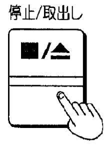


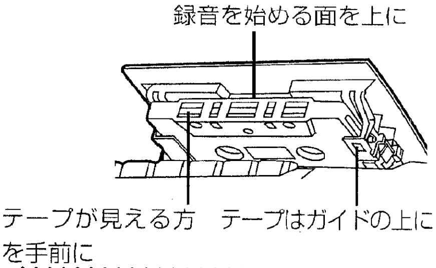
B



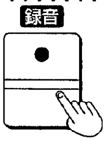


1





3



CDを録音する

1 **[■/▲ 停止／取出し] を押してカセットふたを開け、テープを入れる**
カセットふたを手で閉めます。

2 **切換つまみを「CD」に合わせる**
電源が入ります。

3 **[▲CD] を押してCDふたを開け、CDを入れる**
CDふたを手で閉めます。
総曲数と総演奏時間が表示されます。

4 **[● 録音] を押す**
[▶ 再生] も同時に押し込まれ、録音を開始すると同時にCDの演奏が始まります。
片面だけ録音して停止します。

録音を止めるには
[■/▲ 停止／取出し] を押す。
(CDは止まりません。)

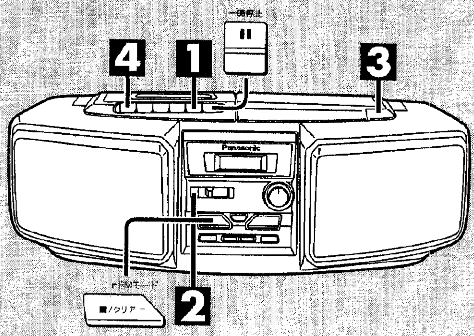
録音を一時停止するには
[❙❙ 一時停止] を押す。
(CDは止まりません)
録音を再開するには、もう一度押す。

CDの演奏が先に終わると
CDは止まりますが、テープは録音を続けます。
[■/▲ 停止／取出し] を押してテープを止めてください。

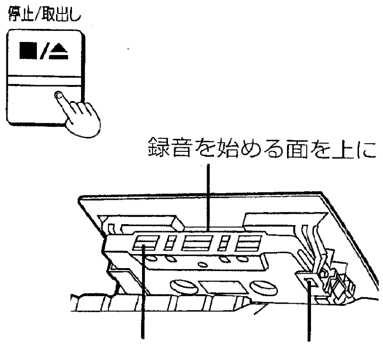
テープの録音が先に終わると
録音は止まりますが、CDは演奏を続けます。
[FMモード、■／クリアー] を押して、CDを止めてください。

続けて裏面に録音するときは
1. **[+/▶▶|]** を押して、途切れた曲の頭出しをする
2. テープを裏返してから、**[● 録音]** を押す

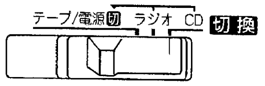
好みの曲を録音するには
手順 **4** の前で好みの曲を予約（12ページの手順 **2** ～ **4**）した後、**[● 録音]** を押す。



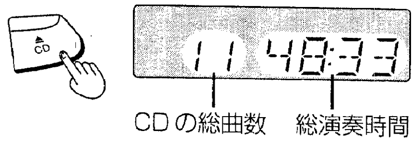
1



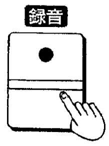
2



3



4



マイクを使う A

- 接続するときは、音量を下げてください。

プラグタイプ：モノラルミニ（M3）
推奨品：RP-VK45（別売り）

カラオケを楽しむには

① マイクを接続する
② CD やラジオ、テープを再生する
③ カラオケを始め、音量を調整する

カラオケを録音するには（CD）

① マイクを接続する
② デッキにテープを入れる
③ CD を入れ、好みの曲を選ぶ
④ [● 録音] を押してカラオケを始める
[▶ 再生] も同時に押し込まれ、録音を開始すると同時に CD の演奏が始まります。

マイクから録音するには

① マイクを接続する
② 切換 つまみを「テープ／電源 切」に合わせる
③ デッキにテープを入れる
④ [● 録音] を押す
[▶ 再生] も同時に押し込まれ、録音が始まります。

本機を拡声器として使うには

① マイクを接続する
② 切換 つまみを「テープ／電源 切」に合わせる
③ デッキにテープの入っていない状態で [▶ 再生] を押す
④ 音量を調整する

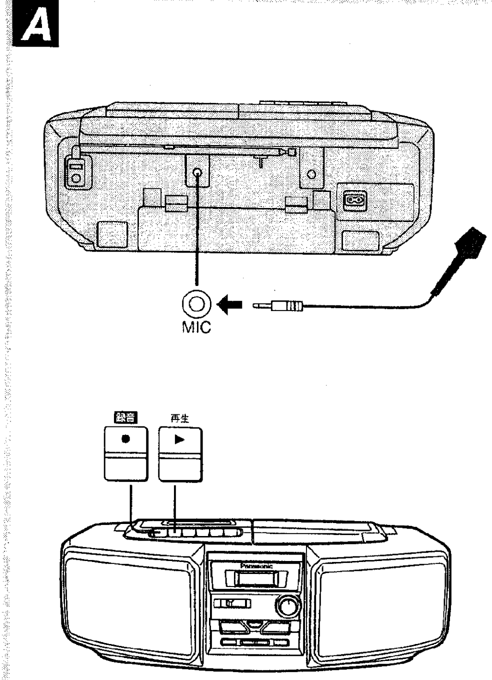
お知らせ

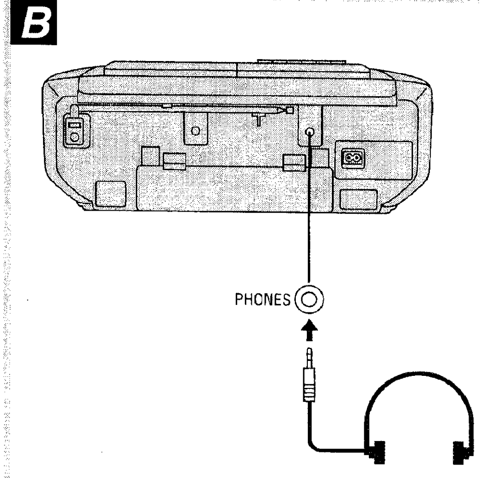
- 音声多重のテープや CD を使っても、歌手の声を消すことはできません。
- CD でカラオケをしているときは、CD の演奏中のみ音声が出ます（停止、一時停止中にはマイクの音声は出ません）。
- マイクを使用中ハウリング（ピーという音）が起きたら、マイクをスピーカーから離すか、音量を下げてください。

ヘッドホンで聞く B

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことはさけてください。

プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
推奨品：RP-HT242（別売り）





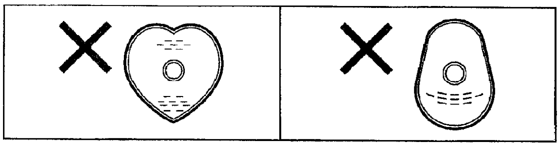
録音

その他の機能

CDについて

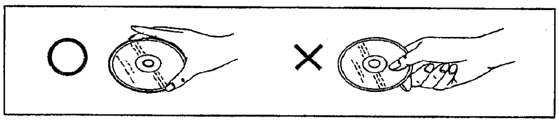
のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状のCDはご使用にならないでください。（機器の故障の原因となります）



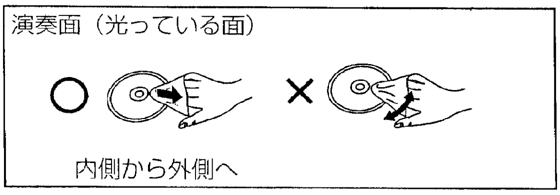
持ちかた

演奏面には触れない。



汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱上のお願い

CDそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシールを貼らない
（セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものは使わないでください）
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定外の市販品は使わない

保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やホコリの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ

テープについて

100分を超えるテープについて

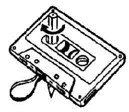
長時間の使用には便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどをくり返すと、テープが回転部分に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

エンドレステープについて

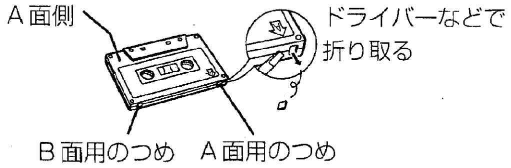
使用方法を誤るとテープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープに付いている使用説明をお読みください。

テープのたるみは巻き取ってください

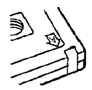
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。



録音したテープを誤って消さないために



- **もう一度録音するには**



保管しておくとき

次のような場所は避けてください。

- 直射日光の当たるところ
- 高温（35℃以上）高湿（80％以上）のところ
- 磁気のあるところ（スピーカーの近くやテレビの上など）

お手入れ

本体表面のお手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

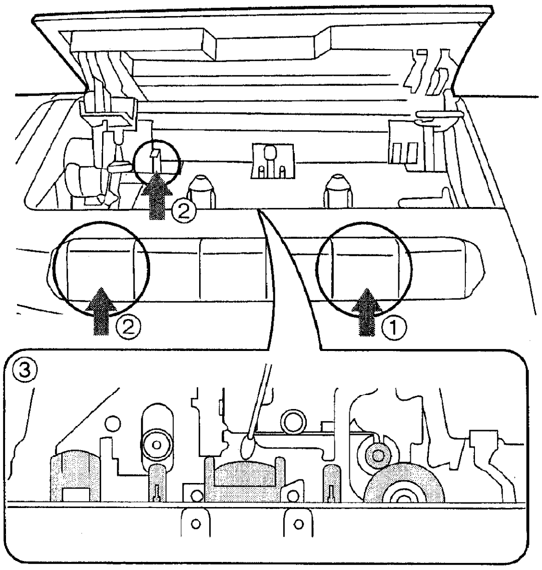
カセットデッキ内部のお手入れ

よい音質で録音・再生するために、ときどき清掃することをおすすめします。

① **[■/▲ 停止／取出し]** を押してカセットふたを開ける。

② カセットデッキ奥のレバーを押さえながら［● 録音］を押す。
ヘッド部が、手前から出てきます。

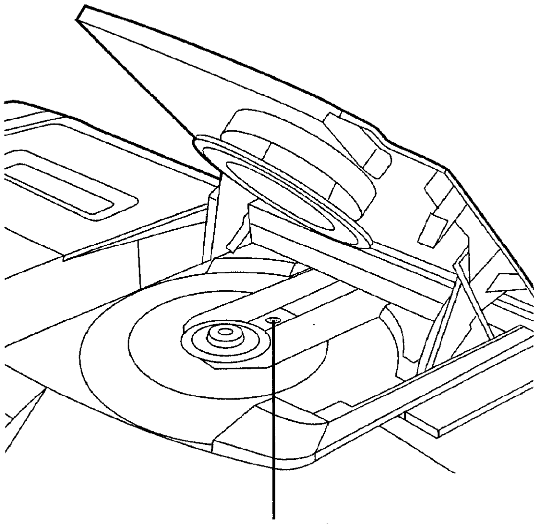
③ 綿棒をアルコール液またはクリーニング液につけ、下図の ░ （テープが触れる部分）の汚れをふき取る。
推奨品：クリーニングキット（RP-919、別売り）



CD レンズのお手入れ

CD 部に内蔵されているレンズにほこりや指紋などが付くと音が飛んだり、正しく動作しなくなります。このことを防ぐため、定期的なお手入れをおすすめします。

推奨品：CD レンズクリーナー（RP-CL510、別売り）



ご参考

著作権について

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎（03）3502-6551
北海道支部	☎（011）221-5088
盛岡支部	☎（0196）52-3201
仙台支部	☎（022）264-2266
大宮支部	☎（048）643-5461
東京支部	☎（03）3562-4455
西東京支部	☎（03）3232-8301
東京イベントコンサート支部	☎（03）5286-1671
立川支部	☎（0425）29-1500
横浜支部	☎（045）662-6551
静岡支部	☎（054）254-2621
中部支部	☎（052）583-7590
北陸支部	☎（0762）21-3602
京都支部	☎（075）251-0134
大阪支部	☎（06）244-0351
大阪北支部	☎（06）244-7077
神戸支部	☎（078）322-0561
中国支部	☎（082）249-6362
四国支部	☎（0878）21-9191
九州支部	☎（092）441-2285
鹿児島支部	☎（0992）24-6211
那覇支部	☎（098）863-1228

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
CD	"E" が表示された。	誤った操作をしていませんか。	説明書を読んで操作し直す。	—
CD	演奏が始まらない。曲数などの表示が出ない。	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度変化がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。約1時間待ってから使用する。	—
テープ	録音できない。	テープのつめを折っていませんか。	折った部分にセロハンテープを貼る。	18
テープ	雑音が多い。音質がよくない。	ヘッドが汚れていませんか。	カセットデッキ内部を手入れする。	19
ラジオ	雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていませんか。	他の機器のリモコンを離す。	—
ラジオ	雑音が入る。	テレビと同時に使用していませんか。	テレビから離す。またはテレビの電源を切る。	—
ラジオ	"FM" 表示が出ない。	TV 音声を受信していませんか。	[−/⏮] を押して FM の周波数を下げる	8, 9

海外で使うときは

AM 放送の受信

本機は 9kHz ごとに周波数が切り換わりますが、以下の地域では 10kHz に切り換えて使えます。

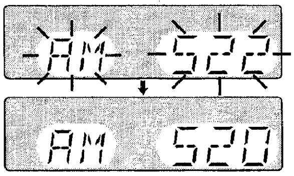
北米、中南米、東南アジアの一部

10kHz に切り換えるには

FM 表示中に [FM/AM、▶/❚❚] を周波数が下図のように変わるまで押し続ける(約 10 秒間)。

約5秒後

さらに押し続けると約5秒後、10kHz に切り換わります。



元に戻すには、もう一度同じ操作をします。

- プリセット番号 (➡8 ページ) の記憶は消えます。

FM 放送の受信

本機は 0.1MHz ごとに周波数が切り換わるため、0.05MHz ごとに切り換わる地域では、正確に受信できないことがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット シンボルマーク

ご参考

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品でお困りの場合は・・
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■修理を依頼されるとき

21 ページの「故障かな！？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、ポータブルステレオ CD システムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

0120-878-365（パナは　365日）

フリーダイヤル（料金無料）

365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）についてのご相談は....

TOKYO	☎ (03)3256-5444
OSAKA	☎ (06)645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0598

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 ☎(011)894-1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	帯広 ☎(0155)33-8477 帯広市西19条南1丁目7-11
旭川 ☎(0166)31-6151 旭川市2条通21丁目左1号	函館 ☎(0138)48-6631 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

青森 ☎(0177)39-9712 青森市大字八ッ役字矢作1-37	宮城 ☎(022)375-2512 仙台市泉区市名坂字清水端59-2
秋田 ☎(0188)26-1600 秋田市御所野湯本2丁目1-2	山形 ☎(0236)41-8100 山形市流通センター3丁目12-2
岩手 ☎(019)639-5120 盛岡市羽場13地割30-3	福島 ☎(0243)34-1301 福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

栃木 ☎(028)632-8450 宇都宮市中央1丁目8-13	柏 ☎(0471)63-8905 柏市北柏1丁目6-6
群馬 ☎(0273)52-1217 高崎市萩原町沖中205-18	東京 ☎(03)5477-9780 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
両毛 ☎(0276)25-6870 太田市東新町244-1	山梨 ☎(0552)22-5171 甲府市下飯田2丁目1-27
水戸 ☎(029)225-0119 水戸市柳河町309-2	神奈川 ☎(045)847-9720 横浜市港南区日野5丁目3-16
つくば ☎(0298)64-8090 つくば市花畑2丁目8-1	新潟 ☎(025)286-0171 新潟市東明1丁目8-14
埼玉 ☎(048)728-8960 桶川市赤堀2丁目4-2	佐渡 ☎(0259)23-2898 両津市秋津字境108-1
千葉 ☎(043)251-3537 千葉市稲毛区園生町369-1	長岡 ☎(0258)28-2111 長岡市寺島町308-12
船橋 ☎(047)334-5111 船橋市本中山6丁目11-7	上越 ☎(0255)44-6871 上越市大字藤野新田字大割353-3

中部地区

石川 ☎(076)294-2683 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	名古屋 ☎(052)614-3136 名古屋市南区西又兵衛町3丁目48
富山 ☎(0764)32-8705 富山市寺島1298	岡崎 ☎(0564)55-5719 岡崎市岡町南久保28
福井 ☎(0776)54-5606 福井市開発4丁目112	岐阜 ☎(058)323-6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
長野 ☎(0263)58-0073 松本市大字笹賀7600-7	高山 ☎(0577)33-0613 高山市花岡町3丁目82
静岡 ☎(054)287-9000 静岡市西島765	三重 ☎(059)255-1380 久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

滋賀 ☎(077)582-5021 守山市勝部町260	奈良 ☎(0743)59-2770 大和郡山市椎木町404-2
京都 ☎(075)672-9636 京都市南区上鳥羽石橋町20-1	和歌山 ☎(0734)75-1311 和歌山市中島499-1
大阪 ☎(06)359-6225 大阪市北区本庄西1丁目1-7	兵庫 ☎(078)272-6645 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

鳥取 ☎(0857)26-9695 鳥取市安長295-1	浜田 ☎(0855)22-6629 浜田市下府町327-93
米子 ☎(0859)34-2129 米子市米原4丁目2-33	岡山 ☎(086)292-1162 岡山県都窪郡早島町矢尾807
松江 ☎(0852)23-1128 松江市西津田2丁目10-19	広島 ☎(082)295-5011 広島市西区南観音8丁目13-20
出雲 ☎(0853)21-3133 出雲市渡橋町416	山口 ☎(0839)86-4050 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

香川 ☎(087)874-6200 香川県綾歌郡国分寺町新名663-1	高知 ☎(0888)66-3142 南国市岡豊町中島331-1
徳島 ☎(0886)98-1125 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	愛媛 ☎(089)971-2144 松山市土居田町750-2

九州地区

福岡 ☎(092)593-9036 春日市春日公園3丁目48	熊本 ☎(096)367-6067 熊本市健軍本町12-3
佐賀 ☎(0952)26-9151 佐賀市本庄町大字本庄896-2	天草 ☎(0969)22-3125 本渡市港町18-11
長崎 ☎(095)830-1658 長崎市東町1949-1	鹿児島 ☎(099)250-5657 鹿児島市与次郎1丁目5-33
大分 ☎(0975)56-3815 大分市萩原4丁目8-35	大島 ☎(0997)53-5101 名瀬市矢之脇町10-5
宮崎 ☎(0985)85-6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納336-2	

沖縄地区

沖縄 ☎(098)877-1207 浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

ラジオ部

受信周波数

FM： 76.0－108.0MHz（TV：1ch-3ch）

AM： 522－1629kHz（9kHzステップ）

520－1710kHz（10kHzステップ）

テープレコーダー部

トラック方式 ステレオ

録音方式 交流バイアス

消去方式 マグネット消去

モニター方式 バリアブルサウンドモニター

周波数範囲（ノーマルポジション）

50～12,000Hz（EIAJ）

CDプレーヤー部

標本化周波数 44.1kHz

復号化 16ビット直線

光源 半導体レーザー（波長780nm）

チャンネル数 2チャンネルステレオ

ワウ・フラッター 測定限界以下

DAコンバーター MASH※（1ビットDAC）

メモリー部

電源 DC6V（単3形乾電池4個）

電池持続時間 約1年間

（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R6PU使用時）

共通

スピーカー 10cm丸形4Ω2個

入力端子

MIC： モノラル（M3）

出力端子

PHONES： M3ステレオ（32Ω）

実用最大出力（DC時） 2W＋2W（EIAJ）

乾電池持続時間

ラジオカセット部： 約28時間（EIAJ録音時）

約14時間（EIAJ音楽再生時）

CD部： 約10時間30分（CD連続録音時）

約 9時間30分（CD連続演奏時）

（別売りナショナル乾電池ネオ《黒》R20PU使用時）

電源

電灯線： AC100V, 50/60Hz

乾電池： DC9V（単1形乾電池6個）

・乾電池の代用として充電式電池を使わない。

消費電力 AC13W

最大外形寸法（幅×高さ×奥行）

456×167×266㎜（EIAJ）

質量 約3.1㎏（乾電池なし）

約3.8㎏（乾電池を含む）

- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

※MASHはNTTの登録商標です。

切換つまみを「テープ／電源 切」に合わせて電源を切った時の消費電力…0.9W（ACのとき）

愛情点検 長年ご使用のポータブルステレオCDシステムの点検を！

こんな症状はありませんか

・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・音が出ないことがある
・正常に動作しないことがある
・商品に破損した部分がある
・その他の異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	品番	RX-DS5

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT4650-S
F0698S1088